

元気なまちかど

No.1 地域の顔「道の駅」が特集 滋賀県各版「タウンページ」贈呈式

県内の道の駅を特集掲載した滋賀県各版のタウンページ贈呈式が5月12日、水口庁舎で行われました。新しいタウンページは、県内20カ所の「道の駅」の魅力が特集で紹介されており、暮らしに欠かせない電話帳としてだけでなく、道の駅巡りのガイドブックとして活用できます。道の駅・あいの土山も、宿場町の風情と茶の香りが漂う道の駅として掲載されています。この日は、NTT関係者が来庁し滋賀県道の駅連絡会の会長である中嶋市長に完成したタウンページが手渡されました。



▲中嶋市長とNTT関係者がタウンページを披露

No.2 新庁舎のいま 新庁舎建設工事現場見学会

市新庁舎現場見学会が、4月30日に水口庁舎敷地内の工事現場で開催され、かふか21子ども未来会議のメンバーや一般公募による市民が参加しました。新庁舎には、信楽焼や地元産のスギ・ヒノキなどを使用し、市の文化や地域の特色を取り入れた開放感あふれる庁舎となるよう設計されています。また、防災拠点としても機能する庁舎となるため、免震構造を採用し、太陽光などの自然エネルギーを取り入れる整備も行います。参加者は、普段見る機会のない工事現場の様子を真剣な表情で見ました。



▲免震装置の説明を受ける見学者

No.3 5年に1度の奴振り 油日神社

甲賀町の油日神社で5月1日、5年に1度奉納される「奴振り」が奉納されました。「頭殿」と呼ばれる祭主のお供の行列で、総勢約250人が町内を練り歩きました。道中では、長持を担いだ長持奴や、華やかな衣装を身にまとった花奴などが、独特の歌や身振りを披露し、見物客を楽しませました。訪れた人は、「勇壮で伝統のある祭りが地域の方々によって継承されていることが素晴らしい」と感心していました。



▶華やかな衣装に身を包んだ花奴



▲改札口前での募金活動

No.4 自分たちができる支援活動 熊本地震の義援金募金活動

甲賀中学校生徒会が、5月9日・10日・16日に学校近くの商業施設、駅、中学校昇降口で熊本地震の義援金募金活動を行いました。生徒たちは、多くの方が避難生活を送っている現状に心を痛め、「自分たちができるところで支援したい」と募金活動を企画しました。手作りの横断幕と義援金箱を持ち、行きかう人々に募金をお願いを呼びかけました。夏休みには、ボランティア活動の一環として取り組むアルミ缶回収の収益金の一部を義援金に充てることも予定しています。

であいこうか DEAI KOKA



世界を見据えたレフティー 山田楓喜選手

今回は、城山中学校3年生で京都サンガF.C. U-15に在籍し、今年4月にU-15サッカー日本代表に初選出された山田選手にお話を伺いました。4月にオーストリアで開催された第13回デルナツィオーネトーナメントでは、欧州や中南米各国代表と対戦し、見事に準優勝という結果を残されました。

INTERVIEW

▶見事にゴールを決められました、大会の感想は？

オーストリア戦では、チームでコミュニケーションをとり、パスの連携からゴールに流し込むことができました。日本ではボールキープができる場面でも相手のフィジカルの強さからボールを失う場面があり、海外選手と日本選手との違いを肌で感じました。



▲ドリブルで駆けあがる山田選手(右)

▶代表で監督・コーチから求められたことは？

監督・コーチからは、パスを受けるという意思表示と守備意識の向上、そして常にゴールを狙う意識を求められました。何よりも気持ちの面において、プロをめざし、世界と戦う選手に成長するためには、自分に何が必要かを考えるよう強く言われました。

▶山田選手のストロングポイントとこれからの目標は？

緩急を使ったドリブルと左足のキックですが、より精度を高め、プロでも通用できるレベルにしたいです。近い目標は、クラブユース選手権と高円宮杯で優勝することです。将来の目標は、プロ・日本代表・ワールドカップ出場とステップアップしていくことです。



▲ノルウェー戦に臨む日本代表メンバー(前列左16番が山田選手) ©JFA/PR